

■ 作成例サンプル ■

作成例① 現状分析

※これは一例です。実際の記述内容は、生徒ひとりひとりの特性・模試結果・志望校分析を元に作成されます。なお、実際にはB5サイズのものが作成されます。

緑鐵受験指導ゼミナール

「模試診断！合格戦略バック」

緑鐵 太郎さん 志望校：東京大学 理科Ⅰ類

現状分析 実力診断テストと模試から現段階の学力を分析する

英語	<p>まず読解力について。2つの東大模試では両方とも偏差値が50に届いておらず、これだけ見ると悲観的な気持ちになるかもしれません。しかし答案から判断すると英文を読み理解する力が高い水準で身に付いているようです。これについては、実力診断テストからも同じ印象を受けました。記号式の選択問題は良くできていますし、和訳も構文は把握できているので、英語の自体の力は低くありません。しかし日本語の表現が上手くないために、東大模試であれば第1問(A)の要約問題や第4問(B)の下線部和訳で大きく点を失っているのです。</p> <p>次は読解以外について。リスニングは東大模試でほとんど得点できていませんし、英作文も実力診断テストから判断すると基本ができていません。しかし読解力が高いですし文法力にも問題は無いですから、潜在能力は高く、英作文・リスニングともに4か月あれば完成可能です。</p>
数学	<p>実力診断テストと全統記述模試の成績から判断すると、数学ⅠA、ⅡB、ⅢCすべての分野において、中堅国立大学の入試であれば、合格点をとれる水準の学力は有しています。しかし東大模試になるとほとんどの問題が白紙で、全くと言ってよいほど歯が立たない状態です。基礎的な問題の解き方であれば身に付いているのですが、見た目が複雑になったり、正解に至るまでの手順が非常に複雑な、東大レベルの問題に対応できる学力は身に付いていません。</p> <p>そして太郎さんには1つ大きな問題点があります。それは計算ミスが多いことです。今回解いてもらった実力診断テストはミスだけで15点近く失っています。東京大学の数学は計算量が多いですし、理科も特に化学は計算量が膨大なので、高い水準の計算力が求められます。数学だけでなく、理科も現状の計算力だとミスを連発し大きく失点する危険性があります。</p>
物理	<p>実力診断テストから判断すると、力学と波動分野であれば、基礎的な学力を有しています。特に力学に関しては、すでに中堅国立大学の問題でも合格点を取れる水準の学力があります。しかし東大模試ではほとんど得点できていません。東大が好むような、見た目が複雑な問題において、どのような方針で解いていけばいいかを見抜く能力は、得意の力学分野でも十分には備えていないと言えます。ただ危険なのは電磁気と熱力学です。東大模試はおろか実力診断テストもほとんど解けておらず、特に電磁気は公式を覚えていないのか怪しい状況です。電磁気は東大入試で毎年必ず出題されていますから、ここは早急に克服する必要がありますね。</p>
化学	<p>実力診断テストでは、無機分野・有機分野における失点が目立ちました。特に無機分野はセンター試験ですら満足な得点はできない知識レベルにあると判断できます。しかし理論分野は物理の力学と同様に、中堅国立大学の入試レベルの問題であれば解くことができる実力を備えています。東大模試では満足な得点ができていませんが、今、有している学力があれば、残りの4か月間で、東大の問題でも合格点を取れる学力まで到達することが十分に可能です。加えて無機分野・有機分野は事柄を覚えれば覚えるほど点が取れるようになる暗記が主体の分野ですから、今の知識量に関係なく、短期集中で一気に詰め込むことが可能です。</p>
国語	<p>まずは現代文について。実力診断テストと模試の答案から判断すると、素材文の内容は十分に把握できています。しかし実力診断テスト・模試ともに得点低いです。その理由は、記述式答案の作成が不得手なことです。答案に入れるべき内容はわかっているのだけれど、その内容を余さずに盛り込んだ文章を書く作業が上手くできていないようですね。</p> <p>次は古文漢文についてですが、古文は文法事項と単語を覚えてはいますが、センター試験レベルの文章であれば読み解くことができる読解力も備えているようです。東京大学の古文漢文の素材文はセン</p>



模試の成績表やその答案・問題を分析することで、点数や偏差値といった表面的な情報だけではなく、「実際に志望校の問題の形式・難度に即した力」がどれほどあるのかを分析します。

作成例② 今後の学習方針

※これは一例です。実際の記述内容は、生徒ひとりひとりの特性・模試結果・志望校分析を元に作成されます。なお、実際にはB4サイズのもので作成されます。

今後の学習方針 志望校合格のための戦略と学習の流れ

総論					
科目	英語	数学	物理	化学	国語
目標点/配点	85/120	30/120	40/60	35/60	35/80
現状の学力と東京大学の出題傾向を考えると、英語と理科で点を稼ぐ作戦が最も効率が良いです。ここ最近の数学は特殊な発想を必要とする難問も見受けられるので、高得点を狙えるまでに実力を引き上げるのは残り期間を考えると困難です。数学の対策は少なめに、その代わり他科目で点数を稼ぐ作戦が効率的なのです。また、センター試験は2次試験の勉強を通して身に付く学力でまかないます。					

英語			
11月	12月	1月	2月
英文和訳演習	ハイパー和英&大矢	過去問演習	
ニュース英語	東大リスニング		

●戦略●

東大の設問形式は昔からほとんど変わっていないので、過去問による演習が有効です。しかし過去問演習の前に、1つ1つの設問形式に特化した本を使って勉強することで、その形式の設問を解くとき、どのような点に気付けばよいのかを学んでおきます。太郎さんの場合は下線部和訳・英作文・リスニング対策に特化した本を使います。その他の設問に関しては過去問に取り組むことで攻略可能です。

●学習の流れ●

まずは「英文和訳演習」で、下線部和訳の答案作成において意識すべきことを学びます。下線部を書いて訳し、解説と見比べる形で学習してください。また英文を音読する復習を何度も行いましょう。次は英作文対策です。まず「ハイパー和英」で英作文の基礎理論を学びます。例文は丸暗記すること。その後「大矢」に取り組み、東大形式の英作文に慣れます。ただし取り組むのはPART3だけです。その他の部分は「ハイパー和英」で学ぶ内容で十分です。また、並走してリスニングの勉強も行います。リスニングは継続して取り組むことが大事ですから、どんなに忙しい日でも1日15分は最低でも聞くようにしてください。1月からは過去問演習に入ります。ただしあまり古いものは今の傾向と違いますから、赤本に載っている分を使い切ったら、予備校が出している東大模試の過去問集に取り組むと良いです。

数学			
11 月	12 月	1 月	2 月
数学ⅢC 標準問題精講	やさしい理系数学		過去問演習
●戦略● 東京大学の数学はⅢC からの出題比率が高く、さらに型にはまった問題の多いⅢC は点を稼ぎやすいことを考え、数学ⅢC だけ勉強します。ⅠA とⅡB は今までの復習や、12 月に入ったら週 1 年分のペー			

↑
志望校の個別試験で必要なすべての科目について、「いつ、どの参考書で勉強すべきか」というフローチャートが付きます。数ある参考書の中から現状に合ったものを的確に組み込むことによって、「何を使って勉強すればいいのか」という入試直前に起こりがちな不安を解消し、かつ、無駄を徹底的に省いた学習計画を提供します。

作成例③ 参考書リスト

※これは一例です。実際の記述内容は、「現状分析」「今後の学習方針」を元に作成されます。なお、実際にはB5サイズのもので作成されます。

『模試で診断！ 合格戦略パック』使用参考書リスト

緑鐵 太郎さん 志望校：東京大学 理科Ⅰ類

科目	略称	正式書名	出版社
英語	英文和訳演習	英文和訳演習 中級篇	駿台文庫
	ハイパー和英	大学入試英作文ハイパートレーニング 和文英訳編	桐原書店
	大矢	大矢英作文講義の実況中継	語学春秋社
	ニュース英語	ニュース英語のリスニング 基礎編	DHC
	東大リスニング	東大英語リスニング	アルク
数学	数学ⅢC 標準問題精講	数学Ⅲ・C 標準問題精講	旺文社
	やさしい理系 数学	やさしい理系数学	河合出版
物理	エッセンス	物理のエッセンス [力学・波動]/[電磁気・熱・原子]の2分冊	河合出版
	名問	名問の森物理 [力学・波動]/[電磁気・熱・原子]の2分冊	河合出版
化学	精選化学	化学Ⅰ・Ⅱ 精選問題演習	旺文社
	照井無機	無機化学の最重点 照井式解法カード	学研
	照井有機	有機化学の最重点 照井式解法カード	学研
国語	漢文速点法	漢文 早覚速点法	学研
	得点奪取現代文	得点奪取現代文 記述・論述対策	河合出版
	得点奪取古文	得点奪取古文 記述対策	河合出版



現状分析・今後の学習方針を元に、入試までに取り組むべき参考書を一覧表にしてお渡しします。参考書の正式名称・出版社名が明記されているので、購入の際の参考になります。